

令和7年11月19日(水)

令和7年第3回岸和田市貝塚市清掃施設組合議会定例会

会 議 録

岸和田市貝塚市清掃施設組合

令和7年第3回岸和田市貝塚市
清掃施設組合議会定例会議事日程

〔 令和7年11月19日（水） 〕
〔 午後1時30分 開 議 〕

- 第 1 会期決定について
- 第 2 認 定 第 1 号 令和6年度岸和田市貝塚市清掃施設組合決算認定を求める
について

出席議員（13名）

1番	井 舍	英 生	2番	海 老 原	友 子
3番	河 合	達 雄	4番	乘 原	佳 一
5番	小 西	拓 慎	7番	西 田	武 史
8番	藤 原	豊 和	9番	川 岸	貞 利
10番	堺 谷	裕	11番	中 西	真 知 子
12番	長 谷 川	博 文	13番	八 野	裕 嗣
14番	食 野	雅 由			

欠席議員（1名）

6番 友 永 修

出席議事説明員

管 理 者	佐 野 英 利	副 管 理 者	酒 井 了
事 務 局 長	太 田 健 一	事 務 局 次 長	守 行 英 樹
会 計 管 理 者	永 島 和 枝		
総 務 課 長	河 合 幸 代	環 境 技 術 課 長	河 野 道 弘

午後 1 時30分開会

○食野雅由議長

皆さん、こんにちは。ただいまから令和 7 年第 3 回岸和田市貝塚市清掃施設組合議会定例会を開会いたします。

まず、議員出席状況を事務局から報告させます。

○事務局

議員出席状況についてご報告申し上げます。

ただいまの出席議員は13名でございます。

なお、友永議員より欠席の届出がありました。

以上で報告を終わります。

○食野雅由議長

ただいまの報告のとおり、出席議員13名をもちまして会議は成立いたしておりますので、これより本日の会議を開きます。

次に、本日の会議録署名者は、清掃施設組合議会会議規則第107条の規定により、私から、7 番、西田武史議員、8 番、藤原豊和議員を指名いたします。

次に、本定例会における議事説明員は、お手元にご配付しておりますとおりでありますので、報告いたします。

次に、令和 7 年 4 月分から 8 月分までの 5 か月分の例月出納検査結果報告につきましては、さきに議員各位にご送付いたしておりますとおりであります。

本件について、質疑のある方は発言を願います。

〔「なし」の声あり〕

○食野雅由議長

ないようですので、本報告を終わります。

これより日程に入ります。

日程第 1、会期決定についてを議題といたします。

お諮りいたします。

本定例会の会期は、本日の 1 日にいたしたいと思っております。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○食野雅由議長

ご異議なしと認めます。よって、本定例会の会

期は 1 日に決定いたしました。

次に、日程第 2、認定第 1 号令和 6 年度岸和田市貝塚市清掃施設組合決算認定を求めるについてを議題といたします。

本件に対する提案理由の説明を求めます。佐野英利管理者。

○佐野英利管理者

ただいま上程の認定第 1 号令和 6 年度岸和田市貝塚市清掃施設組合決算認定を求めるにつきまして、提案理由をご説明申し上げます。

令和 6 年度一般会計の決算につきましては、地方自治法第 233 条第 2 項の規定により、監査委員の方々にその内容についてご審査をお願いしましたところ、慎重なご審査を賜り、このたび審査意見をつけて議会の認定に付した次第であります。

令和 6 年度一般会計では、歳入決算額 30 億 3,904 万 6,120 円に対しまして、歳出決算額が 29 億 8,401 万 6,223 円でありましたので、歳入歳出差引額が 5,502 万 9,897 円となりました。決算内容につきましては、決算書のほか実質収支に関する調書、決算事項別明細書、財産に関する調書を提出いたしておりますので、何とぞよろしくご審議の上、認定賜りますようお願い申し上げます。

なお、決算の詳細につきましては、事務局長から説明させますので、よろしくようお願い申し上げます。

○食野雅由議長

次に、詳細説明を求めます。太田事務局長。

○太田健一事務局長

それでは、認定第 1 号令和 6 年度岸和田市貝塚市清掃施設組合一般会計決算認定を求めるについての詳細説明をさせていただきます。

決算書 9 ページをお願いいたします。

実質収支に関する調書からご説明申し上げます。歳入総額 30 億 3,904 万 6,120 円に対しまして歳出総額 29 億 8,401 万 6,223 円で、歳入歳出差引額が 5,502 万 9,897 円となり、クリーンセンター大規模改修工事に係る継続費の一般財源 2,000 万円を逐次繰越額としておりますので、それを除いた実質収

支額は3,502万9,897円となっております。

次に、歳入の詳細についてご説明申し上げます。

12、13ページをお願いいたします。歳入につきましては、収入済額の欄を中心にご説明申し上げます。

まず第1款第1項分担金第1目組合市分担金の収入済額は17億7,952万円で、前年度と比べ2億5,402万5千円、16.7%の増加でございます。

両市の負担割合は、2割を均等割、8割を人口割で算出しておりますので、岸和田市が65.44%、貝塚市34.56%となっております。この結果、13ページ備考欄に記載のとおり、岸和田市の分担金が11億6,451万7,888円、貝塚市の分担金が6億1,500万2,112円でございます。

次に、第2款使用料及び手数料の収入済額は4億5,713万1,920円で、前年度と比べ8,455万6,290円、22.7%の増加でございます。

第1項使用料第1目総務使用料で、主なものは備考欄に記載のとおり、附属洗車場使用料135万6,940円でございます。

次の第2項手数料第1目焼却手数料は廃棄物の焼却手数料で4億5,528万1,250円で、前年度と比べ8,450万5,760円、22.8%の増加で、これは令和6年4月から廃棄物処分手数料の改定によるものでございます。

次に、第3款第1項第1目繰越金は3,509万2,125円でございます。

次に、第4款諸収入第1項第1目雑入の収入済額は4億5,568万5,975円で、前年度と比べ1億9,566万4,238円の30.0%の減少でございます。これは主に電力売払単価の下落によるものでございます。

次に、第5款第1項組合債第1目清掃施設整備事業債の収入済額は3億980万円で、前年度と比べ7億2,570万円、70.1%の減少でございます。その内訳は、右ページ備考欄の大阪湾圏域広域処理場整備委託事業債1,090万円、ごみ処理施設増設事業債2億9,890万円でございます。

次に、第6款財産収入第1項財産売払収入第1

目物品売払収入の収入済額は181万6,100円で、これはリサイクル棟で使用するフォークリフト等の更新に伴い、旧の車両を売り払ったことによるものでございます。

以上、合計は、最下段の歳入合計30億3,904万6,120円で、前年度と比べ9億3,851万5,811円の減少でございます。

続きまして、歳出の詳細についてご説明申し上げます。次に14、15ページをお願いいたします。

第1款第1項第1目議会費は、予算現額384万4千円に対し、支出済額237万6,480円でございます。

次に、第2款総務費は、予算現額32億6,600万8千円に対し、支出済額26億1,116万7,517円で、令和7年度から令和9年度にかけて継続費で行います、クリーンセンターリサイクル棟大規模改修工事に係る令和8年度への繰越金2億円を差し引きますと、不用額は4億5,484万483円となります。

第1項総務費は、予算現額2億4,165万1千円に対し、支出済額2億269万644円、不用額3,896万356円でございます。

第1目総務管理費の主なものは、事業区分欄、職員給与費1億8,660万5,259円と総務管理事業1,111万4,130円でございます。

次に、16、17ページをお願いいたします。第2目公平委員会費の支出済額6万5,100円と、18、19ページの上段、第3目監査委員費14万2千円は、主に委員報酬でございます。

次に、第2項施設費は、予算現額30億2,435万7千円に対し、支出済額は24億847万6,873円で、先ほどご説明いたしましたリサイクル棟大規模改修工事に係る繰越金2億円を差し引きますと、不用額は4億1,588万127円となります。

第1目施設管理費は、事業区分欄、施設管理運営事業12億3,585万8,900円は、クリーンセンターの運転管理に要する費用で、排ガスや排水の処理に必要な薬品類、設備の経年劣化に伴い交換する消耗品や電気代、ガス代、上下水道の料金など需

用費、焼却灰の運搬など通信運搬費等の役務費、
運転管理や焼却灰処分などの委託料でございます。

事業区分欄、次の大阪湾圏域広域処理場整備事業1,217万1千円は、フェニックス事業に係る建設委託費でございます。

次のクリーンセンター維持補修事業11億6,044万6,973円は、主に施設維持に要する定期点検整備工事、排水処理設備の水槽改修工事に係る工事請負費と各工事に伴う原材料の費用でございます。

次に、20、21ページをお願いいたします。第3款公債費は、予算現額3億8,774万4千円に対し、支出済額3億7,047万2,226円、不用額1,727万1,774円でございます。ごみ処理施設増設事業に係るもののほか、大阪湾圏域広域処理場整備事業に係るもの、基幹的設備改良事業に係るものなどの元金、償還金及び利子でございます。

次の第4款第1項第1目予備費の充当はございません。

以上、支出合計は、予算現額36億6,059万6千円に対し、支出済額29億8,401万6,223円、次年度へのリサイクル棟大規模改修工事の通次繰越金2億円を引きますと、不用額は4億7,657万9,777円となります。

不用額につきましては、19ページの施設管理運営事業では、需用費1億1,572万4,071円、委託料1億189万8,619円の不用額でございます。

需用費に関しましては、災害時などの緊急的な廃棄物の処理量増加に伴う薬品類、灯油、光熱水費の必要な増加分を見込んでおりましたのと、入札による差金が生じたことによる不用額でございます。

委託費に関しましては、労働人口の減少や最低賃金の引上げなどが影響する業務委託費の人件費が急激な高騰に対応する増加分を見込んでおりましたのと、入札による差金が生じたものでございます。

クリーンセンター維持補修事業では、需用費1,330万163円、工事請負費1億1,255万7,400円、原材料費5,388万1,264円の不用額でございます。

これは人件費や資材の高騰による増加分と、入札差金、事業内容の見直しなどにより生じたものでございます。

続きまして、24、25ページをお願いいたします。財産に関する調書でございます。公有財産として土地、建物でございます。年度中の増減はございませんので、土地の面積14万2,337.09平方メートル、建物の延べ床面積5万3,863.98平方メートルと、前年度と変わりはありません。

次に、26ページをお願いいたします。重要物品調書でございます。取得価格50万円以上の物品で、車両類が1台減少となり、総数としては55台となっております。

説明は以上でございます。

○食野雅由議長

説明が終わりました。ただいまの提案理由について、質疑に入りたいと思います。質疑はありますか。1番、井舎議員。

○1番 井舎英生議員

決算書の18ページ、19ページ、クリーンセンターの維持補修事業に関してですけれども、先ほど局長のほうから、維持修繕費等に、工事費がちょっと不用額が出ているというふうに見えるんですけども、現在の焼却炉の性能が経年劣化等でいろいろ機器を入れ替えるとか、そんなことをされているかもわかりませんが、性能が落ちないように、ぜひしていただきたい。私のほうの願いとしては、こちらから出るいろいろ排ガス、特にダイオキシンのことについて私、非常に関心がありまして、ここのクリーンセンターのダイオキシン濃度は非常に低い、日本でもトップクラスだというふうに評価しておりますので、それが維持できるように、ぜひその辺には、怠りなくやっつけていただいていると思いますが、その辺で何か補足していただけるようなことはありますか。ちょっと不用額が出ているのが心配になって質問しました。

○食野雅由議長

太田局長。

○太田健一事務局長

今ご質問いただきました設備の維持と申しますか管理も含めてですけれども、その辺は、毎年プラントメーカーとうちの職員らが立ち会って、定期整備の工事の内容などを精査しながら、うちらでも排ガスとかその辺の値を、できるだけ市民さんとお約束した基準値をできるだけ下回るような形で整備を続けていくような形で努めております。

以上でございます。

○食野雅由議長

1 番、井舎議員。

○1 番 井舎英生議員

ありがとうございました。ぜひ私たち信頼できるクリーンセンターの焼却炉ということがずっと続けられますように、よろしく願いいたします。

質問は以上です。

○食野雅由議長

ほかにございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○食野雅由議長

それでは、質疑が終わったものと認めます。

これより討論に入ります。討論はありますか。

〔「なし」の声あり〕

○食野雅由議長

討論なしと認めます。

これより認定第 1 号を採決いたします。

本決算は、これを認定することに決しましてご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○食野雅由議長

ご異議なしと認めます。よって、令和 6 年度決算は認定されました。

以上で本定例会に付議する議案は全て終了いたしました。

以上をもちまして、本定例会の日程は全て終了いたしました。

各案件につきまして、慎重にご審議賜り、厚く御礼を申し上げます。

これをもちまして、令和 7 年第 3 回岸和田市貝塚市清掃施設組合議会定例会を閉会いたします。

上記会議録の正確なるを証するため、ここに署名する。

岸和田市貝塚市清掃施設組合議会 議長 食野 雅由	
同 議員 西田 武史	
同 議員 藤原 豊和	

令和7年第3回組合議会定例会議案

議案番号	件名	備考
認定第1号	令和6年度岸和田市貝塚市清掃施設組合決算認定を 求めるについて	別冊

岸和田市貝塚市清掃施設組合

認定第 1 号

令和 6 年度岸和田市貝塚市清掃施設組合決算認定を求めるについて

令和 6 年度岸和田市貝塚市清掃施設組合一般会計の決算は、別紙のとおり監査委員の審査を経たので、地方自治法第 233 条第 3 項の規定により議会の認定を求める。

令和 7 年 11 月 19 日提出

岸和田市貝塚市清掃施設組合
管 理 者 佐 野 英 利

令和6年度

岸和田市貝塚市清掃施設組合決算書

目 次

一般会計歳入歳出決算書	-----	1
実質収支に関する調書	-----	7
歳入歳出決算事項別明細書	-----	11
財産に関する調書	-----	23

一般会計歳入歳出決算書

令和6年度一般会計歳入歳出決算書

歳 入

款	項	予 算 現 額	調 定 額
1. 分担金		2,445,620,000	1,779,520,000
	1. 分担金	2,445,620,000	1,779,520,000
2. 使用料及び手数料		416,615,000	457,131,920
	1. 使用料	1,556,000	1,850,670
	2. 手数料	415,059,000	455,281,250
3. 繰越金		1,000	35,092,125
	1. 繰越金	1,000	35,092,125
4. 諸収入		299,360,000	455,685,975
	1. 雑入	299,360,000	455,685,975
5. 組合債		499,000,000	309,800,000
	1. 組合債	499,000,000	309,800,000
6. 財産収入		0	1,816,100
	1. 財産売払収入	0	1,816,100
歳 入 合 計		3,660,596,000	3,039,046,120

(単位：円)

収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	予 算 現 額 と 収 入 済 額 と の 比 較
1,779,520,000	0	0	△666,100,000
1,779,520,000	0	0	△666,100,000
457,131,920	0	0	40,516,920
1,850,670	0	0	294,670
455,281,250	0	0	40,222,250
35,092,125	0	0	35,091,125
35,092,125	0	0	35,091,125
455,685,975	0	0	156,325,975
455,685,975	0	0	156,325,975
309,800,000	0	0	△189,200,000
309,800,000	0	0	△189,200,000
1,816,100	0	0	1,816,100
1,816,100	0	0	1,816,100
3,039,046,120	0	0	△621,549,880

歳 出

款	項	予 算 現 額
1. 議会費		3,844,000
	1. 議会費	3,844,000
2. 総務費		3,266,008,000
	1. 総務費	241,651,000
	2. 施設費	3,024,357,000
3. 公債費		387,744,000
	1. 公債費	387,744,000
4. 予備費		3,000,000
	1. 予備費	3,000,000
歳 出 合 計		3,660,596,000

歳入歳出差引残額

55,029,897 円

(単位：円)

支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額	予 算 現 額 と 支 出 済 額 と の 比 較
2,376,480	0	1,467,520	1,467,520
2,376,480	0	1,467,520	1,467,520
2,611,167,517	200,000,000	454,840,483	654,840,483
202,690,644	0	38,960,356	38,960,356
2,408,476,873	200,000,000	415,880,127	615,880,127
370,472,226	0	17,271,774	17,271,774
370,472,226	0	17,271,774	17,271,774
0	0	3,000,000	3,000,000
0	0	3,000,000	3,000,000
2,984,016,223	200,000,000	476,579,777	676,579,777

令和7年11月19日提出

岸和田市貝塚市清掃施設組合

管理者 佐野 英利

実 質 収 支 に 関 す る 調 書

実質収支に関する調書

(単位:円)

区 分		金 額	
1.	歳 入 総 額	3,039,046,120	
2.	歳 出 総 額	2,984,016,223	
3.	歳 入 歳 出 差 引 額	55,029,897	
4.	翌 年 度 へ 繰 り 越 す べ き 財 源	(1) 継 続 費 遁 次 繰 越 額	20,000,000
		(2) 繰 越 明 許 費 繰 越 額	0
		(3) 事 故 繰 越 し 繰 越 額	0
		計	20,000,000
5.	実 質 収 支 額	35,029,897	
6.	実質収支額のうち地方自治法第233条 の2の規定による基金繰入額	0	

歲入歲出決算事項別明細書

歳入

(款) 分担金

(項) 分担金

令和6年度一般会計歳入歳出決算事項別明細書

款 項 目	予 算 現 額				節	
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越財源 充 当 額	計	区 分	金 額
1. 分担金	2,488,820,000	△43,200,000	0	2,445,620,000		
1. 分担金	2,488,820,000	△43,200,000	0	2,445,620,000		
1. 組合市分担金	2,488,820,000	△43,200,000	0	2,445,620,000	1. 組合市分担金	2,445,620,000
2. 使用料及び手数料	416,615,000	0	0	416,615,000		
1. 使用料	1,556,000	0	0	1,556,000		
1. 総務使用料	1,556,000	0	0	1,556,000	1. 土地使用料	513,000
					2. 施設使用料	1,043,000
2. 手数料	415,059,000	0	0	415,059,000		
1. 焼却手数料	415,059,000	0	0	415,059,000	1. 廃棄物手数料	415,059,000
3. 繰越金	1,000	0	0	1,000		
1. 繰越金	1,000	0	0	1,000		
1. 繰越金	1,000	0	0	1,000	1. 繰越金	1,000
4. 諸収入	299,360,000	0	0	299,360,000		
1. 雑入	299,360,000	0	0	299,360,000		
1. 雑入	299,360,000	0	0	299,360,000	1. 雑入	299,360,000
5. 組合債	455,800,000	43,200,000	0	499,000,000		
1. 組合債	455,800,000	43,200,000	0	499,000,000		
1. 清掃施設整備事業債	455,800,000	43,200,000	0	499,000,000	1. 清掃施設整備事業債	499,000,000
6. 財産収入	0	0	0	0		
1. 財産売払収入	0	0	0	0		
1. 物品売払収入	0	0	0	0	1. 物品売払収入	0
歳入合計	3,660,596,000	0	0	3,660,596,000		

(単位：円)

調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	備 考
1,779,520,000	1,779,520,000	0	0	
1,779,520,000	1,779,520,000	0	0	
1,779,520,000	1,779,520,000	0	0	
1,779,520,000	1,779,520,000	0	0	岸和田市分担金 1,164,517,888 貝塚市分担金 615,002,112
457,131,920	457,131,920	0	0	
1,850,670	1,850,670	0	0	
1,850,670	1,850,670	0	0	
493,730	493,730	0	0	電柱埋設地等使用料 493,730
1,356,940	1,356,940	0	0	附属洗車場使用料 1,356,940
455,281,250	455,281,250	0	0	
455,281,250	455,281,250	0	0	
455,281,250	455,281,250	0	0	廃棄物処分手数料 455,281,250
35,092,125	35,092,125	0	0	
35,092,125	35,092,125	0	0	
35,092,125	35,092,125	0	0	
35,092,125	35,092,125	0	0	前年度繰越金 35,092,125
455,685,975	455,685,975	0	0	
455,685,975	455,685,975	0	0	
455,685,975	455,685,975	0	0	
455,685,975	455,685,975	0	0	金属類等売払収入 107,582,348 電力売払収入 300,448,584 その他雑収入 1,003,500 再商品化合理化拠出金 46,651,543
309,800,000	309,800,000	0	0	
309,800,000	309,800,000	0	0	
309,800,000	309,800,000	0	0	
309,800,000	309,800,000	0	0	大阪湾圏域広域処理場整備委託事業債 10,900,000 ごみ処理施設増設事業債 298,900,000
1,816,100	1,816,100	0	0	
1,816,100	1,816,100	0	0	
1,816,100	1,816,100	0	0	
1,816,100	1,816,100	0	0	不用品売払収入 1,816,100
3,039,046,120	3,039,046,120	0	0	

歳出

(款) 1. 議会費

(項) 1. 議会費

(目) 1. 議会費

款 項 目	予 算 現 額					事業区分	
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予 備 費 支 出 及 び 流 用 増 減	計	節	
						区 分	金 額
1. 議会費	3,844,000	0	0	0	3,844,000		
1. 議会費	3,844,000	0	0	0	3,844,000		
1. 議会費	3,844,000	0	0	0	3,844,000		
						00000001	2,580,000
						議員報酬等	
						1. 報酬	1,859,000
						3. 職員手当等	721,000
						00000002	1,264,000
						議会運営事業	
						8. 旅費	640,000
						9. 交際費	30,000
						10. 需用費	226,000
						11. 役務費	363,000
						17. 備品購入費	5,000
2. 総務費	3,266,008,000	0	0	0	3,266,008,000		
1. 総務費	241,651,000	0	0	0	241,651,000		
1. 総務管理 費	241,424,000	0	0	0	241,424,000		
						00000003	210,682,000
						職員給与費	
						1. 報酬	12,214,000
						2. 給料	92,111,000
						3. 職員手当等	70,275,000
						4. 共済費	36,058,000
						18. 負担金補助 及び交付金	24,000
						00000004	15,540,700
						総務管理事業	
						5. 災害補償費	200,000
						7. 報償費	15,000
						8. 旅費	1,446,000

(単位：円)

支出済額	翌年度繰越額	不用額	備考
2,376,480	0	1,467,520	
2,376,480	0	1,467,520	
2,376,480	0	1,467,520	
2,274,330	0	305,670	
1,731,000	0	128,000	議員報酬 1,731,000
543,330	0	177,670	議員期末手当 543,330
102,150	0	1,161,850	
0	0	640,000	
0	0	30,000	
3,150	0	222,850	消耗品費 3,150
99,000	0	264,000	筆耕翻訳料 99,000
0	0	5,000	
2,611,167,517	通次繰越 200,000,000	454,840,483	
202,690,644	0	38,960,356	
202,483,544	0	38,940,456	
186,605,259	0	24,076,741	
11,514,744	0	699,256	特別職報酬 287,000 会計年度任用職員報酬 11,103,627 会計年度任用職員超過勤務報酬 124,117
84,486,389	0	7,624,611	一般職給 84,486,389
60,179,730	0	10,095,270	扶養手当 2,012,000 管理職手当 4,116,000 地域手当 5,436,986 住居手当 1,398,000 超過勤務手当 1,964,804 特殊勤務手当 170,560 通勤手当 2,660,540 期末勤勉手当 37,761,283 児童手当 1,080,000 会計年度任用職員期末勤勉手当 3,579,557
30,400,396	0	5,657,604	健康保険組合負担金 142,837 職員共済組合等負担金 29,601,507 公務災害補償負担金 656,052
24,000	0	0	負担金 24,000
11,114,130	0	4,426,570	
0	0	200,000	
0	0	15,000	
554,400	0	891,600	費用弁償 440,580 普通旅費 113,820

(款) 2. 総務費

(項) 1. 総務費

(目) 1. 総務管理費

款 項 目	予 算 現 額					事業区分	
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予 備 費 支 出 及 び 流 用 増 減	計	節	
						区 分	金 額
						9. 交際費	20,000
						10. 需用費	3,324,000
						11. 役務費	6,087,000
						12. 委託料	555,000
						13. 使用料及び 賃借料	1,150,000
						17. 備品購入費	646,700
						18. 負担金補助 及び交付金	2,097,000
						00000010 電算システム運用 事業	13,817,300
						11. 役務費	14,000
						12. 委託料	11,278,000
						13. 使用料及び 賃借料	2,478,000
						17. 備品購入費	47,300
						00000008 リサイクル啓発事 業	1,310,000
						10. 需用費	801,000
						12. 委託料	359,000
						13. 使用料及び 賃借料	110,000
						15. 原材料費	40,000
						00000009 情報公開・個人情 報保護事業	74,000
						1. 報酬	54,000
						8. 旅費	20,000
2. 公平委員 会費	73,000	0	0	0	73,000		
						00000011 委員報酬	63,000
						1. 報酬	63,000
						00000012 公平委員会事業	10,000
						8. 旅費	10,000

(単位：円)

支出済額	翌年度 繰越額	不用額	備 考
0	0	20,000	
2,202,819	0	1,121,181	消耗品費 1,001,491 燃料費 323,303 印刷製本費 694,093 光熱水費 183,932
5,551,346	0	535,654	通信運搬費 711,671 手数料 744,588 保険料 4,095,087
522,925	0	32,075	その他の委託料 522,925
1,036,038	0	113,962	その他の使用料及び賃借料 1,036,038
456,610	0	190,090	機械器具費 452,430 図書購入費 4,180
789,992	0	1,307,008	負担金 489,992 補助金 300,000
3,983,504	0	9,833,796	
13,200	0	800	手数料 13,200
2,189,000	0	9,089,000	その他の委託料 2,189,000
1,734,004	0	743,996	その他の使用料及び賃借料 1,734,004
47,300	0	0	機械器具費 47,300
780,651	0	529,349	
365,071	0	435,929	消耗品費 304,791 印刷製本費 60,280
355,630	0	3,370	その他の委託料 355,630
59,950	0	50,050	その他の使用料及び賃借料 59,950
0	0	40,000	
0	0	74,000	
0	0	54,000	
0	0	20,000	
65,100	0	7,900	
63,000	0	0	
63,000	0	0	委員報酬 63,000
2,100	0	7,900	
2,100	0	7,900	費用弁償 2,100

(款) 2. 総務費

(項) 1. 総務費

(目) 3. 監査委員費

款 項 目	予 算 現 額					事業区分	
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予 備 費 支 出 及 び 流 用 増 減	計	節	
						区 分	金 額
3. 監査委員費	154,000	0	0	0	154,000		
						00000013 委員報酬	144,000
						1. 報酬	144,000
						00000014 監査事業	10,000
						8. 旅費	10,000
2. 施設費	3,024,357,000	0	0	0	3,024,357,000		
1. 施設管理費	3,024,357,000	0	0	0	3,024,357,000		
						00000015 施設管理運営事業	1,470,022,000
						7. 報償費	72,000
						8. 旅費	40,000
						10. 需用費	383,543,000
						11. 役務費	26,193,000
						12. 委託料	1,008,864,000
						13. 使用料及び 賃借料	53,000
						15. 原材料費	44,635,000
						17. 備品購入費	6,306,000
						18. 負担金補助 及び交付金	50,000
						26. 公課費	266,000
						00000016 大阪湾圏域広域処 理場整備事業	12,171,000
						12. 委託料	12,171,000
						00000017 クリーンセンター 維持補修事業	1,542,164,000
						10. 需用費	113,772,000
						12. 委託料	11,425,000
						14. 工事請負費	1,047,958,000
						15. 原材料費	369,009,000

(単位：円)

支出済額	翌年度繰越額	不用額	備考
142,000	0	12,000	
142,000	0	2,000	
142,000	0	2,000	委員報酬 142,000
0	0	10,000	
0	0	10,000	
2,408,476,873	通次繰越 200,000,000	415,880,127	
2,408,476,873	通次繰越 200,000,000	415,880,127	
1,235,858,900	0	234,163,100	
0	0	72,000	
0	0	40,000	
267,818,929	0	115,724,071	消耗品費 183,865,896 燃料費 10,421,766 印刷製本費 56,216 光熱水費 73,475,051
17,749,576	0	8,443,424	通信運搬費 15,184,410 手数料 2,539,826 保険料 25,340
906,965,381	0	101,898,619	施設維持業務委託料 906,965,381
0	0	53,000	
40,846,291	0	3,788,709	原材料費 40,846,291
2,186,823	0	4,119,177	庁用器具費 351,725 機械器具費 1,813,648 図書購入費 21,450
38,000	0	12,000	負担金 38,000
253,900	0	12,100	公課費 253,900
12,171,000	0	0	
12,171,000	0	0	その他の委託料 12,171,000
1,160,446,973	通次繰越 200,000,000	181,717,027	
100,471,837	0	13,300,163	修繕料 100,471,837
9,446,800	0	1,978,200	その他の委託料 9,446,800
735,400,600	通次繰越 200,000,000	112,557,400	工事費 735,400,600
315,127,736	0	53,881,264	原材料費 315,127,736

(款) 3. 公債費

(項) 1. 公債費

(目) 1. 元金

款 項 目	予 算 現 額					事業区分	
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予 備 費 支 出 及 び 流 用 増 減	計	節	
						区 分	金 額
3. 公債費	387,744,000	0	0	0	387,744,000		
1. 公債費	387,744,000	0	0	0	387,744,000		
1. 元金	355,449,000	0	0	0	355,449,000		
						00000022 長期債元金償還事 業	355,449,000
						22. 償還金利子 及び割引料	355,449,000
2. 利子	32,295,000	0	0	0	32,295,000		
						00000023 長期債利子償還事 業	32,295,000
						22. 償還金利子 及び割引料	32,295,000
4. 予備費	3,000,000	0	0	0	3,000,000		
1. 予備費	3,000,000	0	0	0	3,000,000		
1. 予備費	3,000,000	0	0	0	3,000,000		
歳 出 合 計	3,660,596,000	0	0	0	3,660,596,000		

(単位：円)

支出済額	翌年度繰越額	不用額	備考
370,472,226	0	17,271,774	
370,472,226	0	17,271,774	
355,448,882	0	118	
355,448,882	0	118	
355,448,882	0	118	償還金 355,448,882
15,023,344	0	17,271,656	
15,023,344	0	17,271,656	
15,023,344	0	17,271,656	利子及び割引料 15,023,344
0	0	3,000,000	
0	0	3,000,000	
0	0	3,000,000	
2,984,016,223	通次繰越 200,000,000	476,579,777	

財 産 に 関 す る 調 書

1. 公用財産

(1) 土地及び建物

区 分		土 地(地 積)			建	
					木 造	
		前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高
行 政 財 産	岸和田市貝塚市 クリーンセンター	m ² 89,999.00	m ²	m ² 89,999.00	m ²	m ²
	旧 清 掃 工 場	10,834.66		10,834.66		
	小湊川側進入道路	935.38		935.38		
	久保側進入道路	1,277.05		1,277.05		
	埋 立 用 地	39,291.00		39,291.00		
合 計		142,337.09		142,337.09		

物						
(延面積)	非 木 造 (延面積)			延 面 積 計		
決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高	前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高
m ²						
	53,799.98		53,799.98	53,799.98		53,799.98
	64.00		64.00	64.00		64.00
	53,863.98		53,863.98	53,863.98		53,863.98

2.重要物品調書

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
机 ・ 卓 子 類	1台	台	1台
い す 類	3		3
箱 類	1		1
事務用機械器具類	4		4
計 器 類	3		3
機 械 類	5		5
工 具 類	12		12
車 両 類	12	△ 1	11
標 本 模 型 類	9		9
雑 具 類	6		6
合 計	56	△ 1	55

令和 6 年度

岸和田市貝塚市清掃施設組合
決算審査意見書

岸和田市貝塚市清掃施設組合監査委員

目 次

第1	審査の対象	-----	1
第2	審査の期間	-----	1
第3	審査の方法	-----	1
第4	審査の結果	-----	1
第5	総括意見	-----	1
1.	決算の概要	-----	1
2.	総括意見	-----	2
第6	審査の概況	-----	3
1.	一般会計	-----	3
(1)	決算状況	-----	3
(2)	歳入	-----	4
(3)	歳出	-----	10
2.	財産	-----	14
(1)	公有財産	-----	14
(2)	重要物品	-----	15

注記

- 1 千円単位で表示した金額は百円単位を四捨五入した。そのため差額又は合計金額が一致しない場合がある。
- 2 比率(%)は、小数点第2位を四捨五入した。そのため小計又は合計が内訳と一致しない場合がある。
- 3 各表中の符号の用法は次のとおりである。
 - 「0.0」----- 該当数値はあるが単位未満のもの
 - 「-」----- 該当数値がないもの
 - 「△」----- マイナスのもの

令和6年度 岸和田市貝塚市清掃施設組合一般会計歳入歳出決算審査意見

第1 審査の対象

令和6年度 岸和田市貝塚市清掃施設組合一般会計歳入歳出決算

第2 審査の期間

令和7年7月30日から令和7年10月3日まで

第3 審査の方法

審査に当たっては、一般会計歳入歳出決算書、実質収支に関する調書、歳入歳出決算事項別明細書及び財産に関する調書が関係法令に準拠して作成されているか、また、これらの書類の計数は関係諸帳簿、証書類と一致しているかを照査したほか、必要に応じ関係職員の説明を聴取して審査した。

第4 審査の結果

審査に付された一般会計歳入歳出決算書及び関係書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、関係諸帳簿と符合し、その計数は正確であり、予算の執行についても適正に運用されているものと認められた。

なお、一般会計の概要及び意見については、以下に述べるとおりである。

第5 総括意見

1. 決算の概要

令和6年度の一般会計決算額は歳入3,039,046千円(対前年度比23.6%減)、歳出2,984,016千円(同24.3%減)で歳入歳出差引額の形式収支は55,030千円となり、翌年度へ繰り越すべき財源20,000千円を除いた実質収支は35,030千円となっている。

歳入の増減をみると前年度に比べ分担金で254,025千円(16.7%)、使用料及び手数料で84,556千円(22.7%)増加し、繰越金で57,819千円(62.2%)、諸収入で195,664千円(30.0%)、組合債で725,700千円(70.1%)、国庫支出金で299,730千円(皆減)減少している。

歳出の増減をみると前年度に比べ公債費で79,429千円(27.3%)増加し、議会費で73千円(3.0%)、総務費で1,037,809千円(28.4%)減少となっており、性質別にみると、義務的経費で78,286千円(16.3%)、その他経費で33,784千円(1.7%)増加し、投資的経費で1,070,523千円(75.7%)減少している。この結果、歳出に占める割合は、義務的経費18.8%、投資的経費11.5%、その他経費69.7%となっている。

決算規模については前年度に比べ減少となっているが、これは主に普通建設事業費が減少したことによるものである。

2. 総括意見

歳入については使用料及び手数料で令和6年度から廃棄物処分手数料が改定されたことにより廃棄物処分手数料が前年度比84,506千円(22.8%)増加している。また、基幹的設備改良事業の工事が前年度で完了したことに伴い、起債の借入額が減少となっている。諸収入では、金属類等売払収入が前年度比3,587千円(3.4%)、ペットボトル売払収入が前年度比3,499千円(8.11%)増加となるも、電力売払収入が電力量の減少と入札単価の著しい下落により前年度比202,730千円(40.3%)減少となっている。

手数料や売払収入などの自主財源は、社会経済情勢によって大きく左右されるところであるが、今後も情報収集・分析や創意工夫により、安定した財源の確保に努めることが重要である。

一方、歳出について節別にみると、委託料32,080千円(3.6%)、原材料費104,469千円(41.5%)増加に対し、需用費27,670千円(6.9%)、工事請負費1,145,849千円(60.9%)の減少となっており、特に基幹的設備改良事業の工事が前年度で完了したことにより事業費が大幅に減少した。公債費で償還金利子及び割引料79,429千円(27.3%)の増加となっている。

起債の償還については、令和5年度より基幹的設備改良事業に係る起債分が増加している。施設の長寿命化を図るため令和元年度から取り組んできた基幹的設備改良事業や継続費であるクリーンセンター大規模改修事業(ごみ処理施設棟)は令和5年度で終了となったが、これらに係る起債の償還が令和6年度以降も増加していく。また、施設の経年劣化に対する改修や維持補修の経費は今後も増加していくと考えられる。

組合においては、クリーンセンターの安定した運営を堅持しつつ、「最少の経費で最大の効果」の実現に向け、歳出抑制への積極的な取り組みや、起債の活用による歳出の平準化、国庫補助金関連の情報収集に努めるとともに自主財源の確保に引き続き努められたい。

また、一般廃棄物行政全般に係る課題については、必要に応じ岸和田市・貝塚市と連携を図り、一般廃棄物中間処理事業の安心・安全かつ円滑な遂行に十分配慮され、快適な市民生活のための環境保持に寄与されるよう切に望むものである。

第6 審査の概況

1. 一般会計

(1) 決算状況

(単位：円)

歳入歳出予算現額	3,660,596,000
歳入決算額	3,039,046,120
歳出決算額	2,984,016,223
歳入歳出差引残額	55,029,897

当年度の決算状況は、予算現額 3,660,596 千円に対し、歳入 3,039,046 千円(対前年度比 23.6%減)、歳出 2,984,016 千円(同 24.3%減)で、歳入歳出差引額の形式収支は 55,030 千円となり、翌年度へ繰り越すべき財源 20,000 千円を除いた実質収支は 35,030 千円で、単年度収支は 62 千円の減少となっている。

過去5年間における決算状況は、次表のとおりである。

(単位：円)

区分 年度	決 算 額		形式収支	翌年度へ繰り越 すべき財源(D)	実質収支 (C) - (D)	単年度収支 (当該年度実質収支 - 前年度実質収支)
	歳入 (A)	歳出 (B)	(A) - (B) = (C)			
6	3,039,046,120	2,984,016,223	55,029,897	20,000,000	35,029,897	△62,228
5	3,977,561,931	3,942,469,806	35,092,125	0	35,092,125	2,869,037
4	3,875,350,445	3,782,439,357	92,911,088	60,688,000	32,223,088	△316,287
3	3,625,723,405	3,552,519,030	73,204,375	40,665,000	32,539,375	△2,643,865
2	4,294,241,222	4,227,057,982	67,183,240	32,000,000	35,183,240	2,776,732

(2) 歳 入

(単位：円)

	6 年 度	5 年 度
予 算 現 額	3,660,596,000	4,275,768,000
調 定 額	3,039,046,120	3,977,561,931
収 入 済 額	3,039,046,120	3,977,561,931
不 納 欠 損 額	0	0
収 入 未 済 額	0	0

当年度の歳入は、予算現額 3,660,596 千円に対し、調定額、収入済額ともに 3,039,046 千円となり、前年度に比べ 938,516 千円(23.6%)減少している。

増加したものは、分担金で 254,025 千円(16.7%)、使用料及び手数料で 84,556 千円(22.7%)、財産収入で 1,816 千円(皆増)である。

減少したものは、繰越金で 57,819 千円(62.2%)、諸収入で 195,664 千円(30.0%)、組合債で 725,700 千円(70.1%)、国庫支出金で 299,730 千円(皆減)である。

財源別では、自主財源は 2,729,246 千円(構成比 89.8%)で、前年度に比べ 86,914 千円(3.3%)増加し、依存財源は 309,800 千円(構成比 10.2%)で、こちらは前年度に比べ 1,025,430 千円(76.8%)減少している。

款別歳入決算状況については、次表のとおりである。

(単位：円、%)

区分 款別	6 年 度			収 入 率		構成 比率	5 年 度	構成 比率
	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	対予算現額	対調定額		収 入 済 額	
分担金	2,445,620,000	1,779,520,000	1,779,520,000	72.8	100.0	58.6	1,525,495,000	38.4
使用料及び 手数料	416,615,000	457,131,920	457,131,920	109.7	100.0	15.0	372,575,630	9.4
繰越金	1,000	35,092,125	35,092,125	3,509,212.5	100.0	1.2	92,911,088	2.3
諸収入	299,360,000	455,685,975	455,685,975	152.2	100.0	15.0	651,350,213	16.4
組合債	499,000,000	309,800,000	309,800,000	62.1	100.0	10.2	1,035,500,000	26.0
財 産 収 入	0	1,816,100	1,816,100	—	100.0	0.1	—	—
国 庫 支出金	—	—	—	—	—	—	299,730,000	7.5
計	3,660,596,000	3,039,046,120	3,039,046,120	83.0	100.0	100.0	3,977,561,931	100.0

各款別について決算内容は、以下のとおりである。

第1款 分担金

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	対予算 増減額	収入率
6	2,445,620,000	1,779,520,000	1,779,520,000	0	0	△666,100,000	100.0
5	2,197,895,000	1,525,495,000	1,525,495,000	0	0	△672,400,000	100.0
増減	247,725,000	254,025,000	254,025,000	0	0	6,300,000	

予算現額 2,445,620 千円に対し、調定額、収入済額ともに 1,779,520 千円となり、前年度に比べ 254,025 千円(16.7%)増加している。

収入済額の内訳は、岸和田市分担金 1,164,518 千円、貝塚市分担金 615,002 千円である。

分担金の決算額は、歳出から他の歳入を差し引いた額により決定するものであり、主に歳入では、金属類等売払収入などの自主財源の確保に努め、歳出では、維持補修費においての入札差金の発生、クリーンセンター運転管理委託料をはじめ運営経費の精査などにより費用減少したことによって、予算現額に対し 666,100 千円の減少となっている。

第2款 使用料及び手数料

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	対予算 増減額	収入率
6	416,615,000	457,131,920	457,131,920	0	0	40,516,920	100.0
5	335,664,000	372,575,630	372,575,630	0	0	36,911,630	100.0
増減	80,951,000	84,556,290	84,556,290	0	0	3,605,290	

予算現額 416,615 千円に対し、調定額、収入済額ともに 457,132 千円となり、前年度に比べ 84,556 千円(22.7%)増加している。

これは、令和6年度から廃棄物処分手数料が改定されたことによるものである。収入済額の内訳は、使用料 1,851 千円、手数料 455,281 千円である。

第3款 繰越金

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	対予算 増減額	収入率
6	1,000	35,092,125	35,092,125	0	0	35,091,125	100.0
5	60,689,000	92,911,088	92,911,088	0	0	32,222,088	100.0
増減	△60,688,000	△57,818,963	△57,818,963	0	0	2,869,037	

予算現額1千円に対し、調定額、収入済額ともに35,092千円となり、前年度に比べ57,819千円(62.2%)減少している。

これは、前年度においてクリーンセンター大規模改修事業(ごみ処理施設棟)の継続費逐次繰越金とI T V装置更新工事の継続費逐次繰越金が繰り越されたが、当年度においては継続費逐次繰越金の繰越額はないことによるものである。

第4款 諸収入

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	対予算 増減額	収入率
6	299,360,000	455,685,975	455,685,975	0	0	156,325,975	100.0
5	283,231,000	651,350,213	651,350,213	0	0	368,119,213	100.0
増減	16,129,000	△195,664,238	△195,664,238	0	0	△211,793,238	

予算現額299,360千円に対し、調定額、収入済額ともに455,686千円となり、前年度に比べ195,664千円(30.0%)減少している。

これは、主に金属類等売払収入は単価の上昇により、ペットボトル売払収入は搬出量の増加と単価の上昇により収入済額が増加したものの、電力売払収入は発電量の減少と入札単価の著しい下落(21円48銭から9円57銭に下落)により収入済額が減少したことによるものである。

収入済額の内訳としては、金属類等売払収入107,582千円、電力売払収入300,449千円、ペットボトル売払収入46,652千円、その他雑収入1,004千円である。

第5款 組合債

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	対予算 増減額	収入率
6	499,000,000	309,800,000	309,800,000	0	0	△189,200,000	100.0
5	1,097,900,000	1,035,500,000	1,035,500,000	0	0	△62,400,000	100.0
増減	△598,900,000	△725,700,000	△725,700,000	0	0	△126,800,000	

予算現額 499,000 千円に対し、調定額、収入済額ともに、309,800 千円となり、前年度に比べ 725,700 千円(70.1%)減少している。

これは、主に基幹的設備改良事業の工事が前年度で完了したこと、当年度においてクリーンセンター大規模改修事業（リサイクルプラザ棟）が繰り越されたことにより、前年度に比べて起債額が減少したことによるものである。

収入済額の内訳としては、大阪湾圏域広域処理場整備委託事業債 10,900 千円、ごみ処理施設増設事業債 298,900 千円である。

第6款 財産収入

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	対予算 増減額	収入率
6	0	1,816,100	1,816,100	0	0	1,816,100	100.0
5	—	—	—	—	—	—	—
増減	0	1,816,100	1,816,100	0	0	1,816,100	

予算現額 0 千円に対し、調定額、収入済額ともに、1,816 千円となり、前年度に比べ 1,816 千円(皆増)増加している。

これは、公用車の更新に伴い、旧車両を売払ったことによるものである。

国庫支出金

(単位：円、%)

区分 年度	予算現額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	対予算 増減額	収入率
6	—	—	—	—	—	—	—
5	300,389,000	299,730,000	299,730,000	0	0	△659,000	100.0
増減	△300,389,000	△299,730,000	△299,730,000	0	0	659,000	

国庫支出金については、国庫補助の対象である基幹的設備改良事業が前年度で完了したため、当年度は0円となっている。

(3) 歳 出

(単位：円)

	6 年 度	5 年 度
予 算 現 額	3,660,596,000	4,275,768,000
支 出 済 額	2,984,016,223	3,942,469,806
翌年度繰越額	200,000,000	0
不 用 額	476,579,777	333,298,194

当年度の歳出は、予算現額 3,660,596 千円に対し、支出済額は 2,984,016 千円（執行率 81.5%）となり、前年度に比べ 958,454 千円（24.3%）減少している。

不用額 476,580 千円の内訳は、主に総務費における 454,840 千円である。

支出済額を款別にみると、議会費 2,376 千円（構成比 0.1%）、総務費 2,611,168 千円（同 87.5%）、公債費 370,472 千円（同 12.4%）である。前年度に比べ公債費 79,429 千円（27.3%）の増加に対し、議会費 73 千円（3.0%）、総務費 1,037,809 千円（28.4%）の減少となっている。

節別に前年度と比較してみると、主に委託料 32,080 千円（3.6%）、原材料費 104,469 千円（41.5%）、償還金利子及び割引料 79,429 千円（27.3%）の増加に対し、需用費 27,803 千円（7.0%）、工事請負費 1,145,849 千円（60.9%）の減少となっている。

款別歳出決算状況については、次表のとおりである。

(単位：円、%)

区分 款別	6 年 度				5 年 度	支出済額 増 減	支出済額 構成比率	
	予 算 現 額	支 出 済 額	執行率	翌年度 繰越額	支 出 済 額		6 年度	5 年度
議会費	3,844,000	2,376,480	61.8	0	2,449,876	△73,396	0.1	0.1
総務費	3,266,008,000	2,611,167,517	79.9	200,000,000	3,648,976,682	△1,037,809,165	87.5	92.6
公債費	387,744,000	370,472,226	95.5	0	291,043,248	79,428,978	12.4	7.4
予備費	3,000,000	0	—	0	0	0	—	—
計	3,660,596,000	2,984,016,223	81.5	0	3,942,469,806	△958,453,583	100.0	100.0

性質別歳出決算状況については、次表のとおりである。

(単位：円、%)

区 分		6 年 度		5 年 度		増減額	増減率
		決 算 額	構成比	決 算 額	構成比		
義務的経費	人 件 費	188,004,589	6.3	189,177,626	4.8	△1,173,037	△0.6
	扶 助 費	1,080,000	0.0	1,050,000	0.0	30,000	2.9
	公 債 費	370,472,226	12.4	291,043,248	7.4	79,428,978	27.3
	計	559,556,815	18.8	481,270,874	12.2	78,285,941	16.3
投資的経費	普通建設事業費	344,355,000	11.5	1,414,878,140	35.9	△1,070,523,140	△75.7
	災害復旧事業費	—	—	—	—	—	—
	計	344,355,000	11.5	1,414,878,140	35.9	△1,070,523,140	△75.7
その他経費	物 件 費	1,315,711,462	44.1	1,295,158,417	32.9	20,553,045	1.6
	維持補修費	759,190,627	25.4	746,063,975	18.9	13,126,652	1.8
	補 助 費 等	5,202,319	0.2	5,098,400	0.1	103,919	2.0
	計	2,080,104,408	69.7	2,046,320,792	51.9	33,783,616	1.7
歳出合計		2,984,016,223	100.0	3,942,469,806	100.0	△958,453,583	△24.3

義務的経費は、559,557千円で、前年度に比べ78,286千円(16.3%)増加している。

これは、主に公債費で79,429千円(27.3%)増加したことによるものである。

投資的経費は、344,355千円で、前年度に比べ1,070,523千円(75.7%)減少している。

これは、主に基幹的設備改良事業の工事が前年度で完了したこと、当年度においてクリーンセンター大規模改修事業(リサイクルプラザ棟)が繰り越されたことにより、事業費が大幅に減少したことによるものである。

その他経費は、2,080,104千円で、前年度に比べ33,784千円(1.7%)増加している。

これは、主に物件費が20,553千円(1.6%)、維持補修費が13,127千円(1.8%)増加したことによるものである。

各款別について決算内容は、以下のとおりである。

第1款 議会費

(単位：円、%)

区分 年度	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	執行率
6	3,844,000	2,376,480	0	1,467,520	61.8
5	3,511,000	2,449,876	0	1,061,124	69.8
増 減	333,000	△73,396	0	406,396	

予算現額3,844千円に対し、支出済額は2,376千円(執行率61.8%)となり、前年度に比べ73千円(3.0%)減少している。

第2款 総務費

(単位：円、%)

区分 年度	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	執行率
6	3,266,008,000	2,611,167,517	200,000,000	454,840,483	79.9
5	3,976,172,000	3,648,976,682	0	327,195,318	91.8
増 減	△710,164,000	△1,037,809,165	200,000,000	127,645,165	

予算現額3,266,008千円に対し、支出済額は2,611,168千円(執行率79.9%)となり、前年度に比べ1,037,809千円(28.4%)減少している。

これは、主に基幹的設備改良事業の工事が前年度で完了したこと、当年度においてクリーンセンター大規模改修事業(リサイクルプラザ棟)が繰り越されたことにより、事業費が大幅に減少したことによるものである。

支出済額の主なものは、需用費370,859千円(構成比14.2%)、委託料931,651千円(同35.7%)、工事請負費735,401千円(同28.2%)、原材料費355,974千円(同13.6%)である。

第3款 公債費

(単位：円、%)

区分 年度	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	執行率
6	387,744,000	370,472,226	0	17,271,774	95.5
5	293,085,000	291,043,248	0	2,041,752	99.3
増 減	94,659,000	79,428,978	0	15,230,022	

予算現額 387,744 千円に対し、支出済額は 370,472 千円(執行率 95.5%)となり、前年度に比べ 79,429 千円(27.3%)増加している。

これは、主に当年度が償還1年目となる基幹的設備改良事業に係る起債の償還によるものである。

支出済額の内訳は、元金 355,449 千円(構成比 95.9%)、利子 15,023 千円(同 4.1%)である。

組合債の前年度末未償還額は 4,910,678 千円で、当年度は 309,800 千円を借入れ、355,449 千円を償還した結果、当年度末未償還額は 4,865,029 千円となっている。

第4款 予備費

当初予算額 3,000 千円であるが、充用額はない。

2. 財 産

(1) 公有財産

ア 土 地

(単位：㎡)

区分 年度	行政財産	普通財産	計
6	142,337.09	0	142,337.09
5	142,337.09	0	142,337.09
増 減	0	0	0

前年度末と同様で増減はない。

イ 建 物

(単位：㎡)

区分 年度	行政財産	普通財産	計
6	53,863.98	0	53,863.98
5	53,863.98	0	53,863.98
増 減	0	0	0

前年度末と同様で増減はない。

(2) 重要物品

決算年度末の現在高は、次表のとおりである。

(単位：台)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
机・卓子類	1	0	1
いす類	3	0	3
箱類	1	0	1
事務用機械器具類	4	0	4
計器類	3	0	3
機械類	5	0	5
工具類	12	0	12
車両類	12	△1	11
標本模型類	9	0	9
雑具類	6	0	6
計	56	△1	55

取得価格 50 万円以上の重要物品の当年度末現在高は 55 台である。